

放送ストリーミング情報掲載

放送ストリーミング情報【2023No.272】(HP 掲載)

分類：放送

局等：Eテレ

作曲家：エドゥアルト・シュトラウス他

曲名：ポルカ・シュネル「誰と一緒に踊るの？」他

演奏：フランツ・ウェザー・メスト指揮ウイーンフィル

関連サイト：[Eテレ]2023年1月1日(日) 午後7:00～午後10:00



2023年1月1日ウイーン楽友会館大ホールにおける演奏です。

<https://www.wienerphilharmoniker.at/ja/newyearsconcert>

放送予定プログラムは下記のとおりでした。

なお、再放送は、[Eテレ]2023年1月7日(土) 午後2:00～午後17:00です。

【出演】

フランツ・ウェザー・メスト指揮ウイーンフィル

合唱 Wiener Sängerknaben

Vienna Girls Choir

ゲスト 反田恭平(ピアニスト)

ヘーデンボルク和樹(ウイーンフィルバイオリン奏者)

司会 赤木野々花(NHK アナウンサー)

【楽曲】

第1部

エドゥアルト・シュトラウス

1.ポルカ・シュネル「誰と一緒に踊るの？」 作品 251★

ヨーゼフ・シュトラウス

2.ワルツ「英雄の詩」作品 87★

ヨハン・シュトラウス 2世

3.《ジプシー男爵》のカドリーユ 作品 422★

カール・ミヒャエル・ツィーラー

4.ワルツ「心地よい夜に」作品 488★

ヨハン・シュトラウス 2世

5.ポルカ・シュネル「元気に行こう！」作品 386★

第2部

フランツ・フォン・スッペ

6.喜劇的オペレッタ《イザベッラ》序曲★

ヨーゼフ・シュトラウス

7.演奏会用ワルツ「愛の真珠」作品 39★

ヨーゼフ・シュトラウス：

8.ポルカ・フランセーズ「アンゲリカ・ポルカ」作品 123★

エドゥアルト・シュトラウス

9.ポルカ・シュネル「さあ、逃げろ！」作品 73★

ヨーゼフ・シュトラウス

10.ポルカ・フランセーズ「上機嫌」作品 281 ★

11.ポルカ・シュネル「いつまでも永遠に」作品 193★

12.ワルツ「まひわ」作品 114★

ヨーゼフ・ヘルメスベルガー2世

13.バレエ《エクセルシオール》からグロッケン・ポルカとギャロップ★

ヨーゼフ・シュトラウス

14.オーケストラ・ファンタジー「アレグロ・ファンタスティック」 Anh.26b★

15.ワルツ「水彩画」作品 258

アンコール曲

「美しく青きドナウ」

「ラデツキー行進曲」

*日本ヨハン・シュトラウス協会刊の『ヨハン・シュトラウス 2世作品目録』

(2006)、『ヨーゼフ・シュトラウス作品目録』(2019) 準拠

★ニューイヤー・コンサート初演奏の作品（14曲予定）

今回、Brooklyn DAC+に仮想アースの Crystal E が、スピーカーケーブルの途中と DA-3000 に自作の仮想アースが使用されています。さらに、DMR-UBZ1 の RCA 端子にも自作の仮想アースが使用されています。また、仮想アース Crystal Ep の導入(7)で報告したように Crystal EpY を Sonica DAC のアース端子に接続してみました。

指揮のメストは 10 年ぶりの登場で、今回のプログラムは 1 曲を除いて、他はすべてニューイヤー・コンサート初の演奏という意欲的な試みで、Vienna Girls Choir も初登場です。初の演奏がほとんどでしたが、メストとウイーンフィルの信頼感があるためか、リラックスした安定感のある演奏です。

当日のライブ放送は、昨年以前との比較は記憶に頼ってのことですが、ディテールの再現によりライブ感が向上しているように感じました。

TASCAM DA-3000 による 5.6MHzDSD 録音は、fidata HFAS1-S10→Brooklyn DAC+経由での再生で、前年の録音と美しき碧きドナウなどで比べてみましたが、今回の録音の方が、より緻密で滑らかな音になっています。

念のため、TEAC Hi-Res Editor による PC→Sonica DAC 経由の再生で、PC に収納した前年の録音と比べてみましたところ、やはり今回の録音の方がより緻密で滑らかな音になっています。

さらに、DMR-UBZ1 の HDD に残っている前年の録画と今回の録画、ならびに、今回 PC に NHK プラスのアカウント設定を行い、収録後のアーカイブについて PC→Sonica DAC 経由の NHK プラスの E テレの配信とも比べてみました。

DMR-UBZ1 の前年の録画と今回の録画では、やはり今回の録画の方が、より緻密で滑らかな音になっています。PC 経由の NHK プラスの E テレの配信はさらにディテールが再現され、ウイーンフィルの繊細な弦の魅力が出てきます。

DMR-UBZ1 の録画はアンテナ経由であり、仮想アースは DMR-UBZ1 への適用ですが、一方、NHK プラスの方では、ネット経由で PC とスイッチングハブに仮想アースが適用されています。このことから、PC 経由の NHK プラスの音楽番組の配信のメリットを感じています。

なお、昨年のコンサートは、[放送ストリーミング情報【2022No.239】](#)で報告しており、バランスアナログアキュライザーやヴォリュームアキュライザーの効果を確認しています。

以上、メストとウイーンフィルのコンビのリラックスした演奏に置いて仮想アースの効果を認めました。

以上

